

衆議院外務委員会ニュース

平成 27.5.15 第 189 回国会第 10 号

5 月 15 日（金）、第 10 回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・岸田外務大臣、中山外務副大臣、左藤防衛副大臣、菌浦外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

吉 良 州 司君（民主）

- ・日本人の対中感情と中国人の対日感情を改善していくために、政府は現在、どのような取組を行っているのか。
- ・第二次世界大戦終結後における中国からの日本人の引揚げが短期間のうちにスムーズに行われた背景について、政府はどのように認識しているのか。
- ・日本人の対中感情を改善していくために、蒋介石の「以德報怨」演説の結果、戦後の日本人の中国大陸からの引揚げに際して当時の中国の人々に温情を受けたというエピソードを活用していくべきではないか。

宮 本 徹君（共産）

- ・米軍からCV22オスプレイの横田基地への配備について政府が打診されたのはいつであり、これまでどのような議論を行ってきたのか。
- ・CV22オスプレイの横田基地配備については、同基地周辺の自治体から撤回を求める要請書（2013. 7 提出）が提出されているが、政府はこれまで米国に対して周辺自治体からこの要請を伝えてきたのか。
- ・MV22オスプレイに比べて3倍以上の事故率があるCV22オスプレイの安全性について、政府はどのように認識しているのか。

秋 葉 賢 也君（自民）

- ・5月15日から行われる予定であった北方四島交流（ビザなし交流）がロシアの国内関係機関との調整がついていないというロシア側の都合で急きょ中止になった。このような事態に至ったことについて、外務省はどのように認識しているか。また、ビザなし交流の今後の実施の見通しについてどうなっているか。
- ・アジアにおける日本のプレゼンスを踏まえれば、今般のネパール大地震への我が国の拠出金額が世界第6位に過ぎないのは妥当ではないと考えるが、いかがか。
- ・岸田外務大臣の今般のキューバ訪問（2015. 4. 30～5. 3）の成果である、キューバへの本格的な無償資金協力

として具体的にどのような協力を今後実施するのか。また、北朝鮮と国交のあるキューバに拉致問題解決の協力を我が国は要請していくべきではないか。

玉 城 デニー君（生活）

- ・安倍総理大臣は米国連邦議会上下両院合同会議における演説（2015. 4. 29）の中の一節において、日米同盟が「ともに立ち向かう」新たな問題にテロリズムを挙げた。このような同盟を希望の同盟と呼ぶことについて外務省はどのような認識なのか。
- ・日米安全保障協議委員会（2+2）共同発表（2015. 4. 27）には、切れ目のない安全保障法制の整備のための2014年7月1日の日本政府の閣議決定等を米国が「歓迎し、支持する」旨記載されているが、同閣議決定に対する我が国国民の支持について岸田外務大臣はどのような認識を有しているのか。
- ・キャンプ・シュワブのゲート前で平和的に抗議活動を行っていた市民に対して海上保安官が取った警察行動は海上保安庁法等にも見受けられない行為と考えるが、陸上での海上保安官の警察行動について政府はどのような認識でいるのか。

青 柳 陽一郎君（維新）

- ・安倍総理大臣の訪米（2015. 4. 26～5. 3）の成果及び意義について、岸田外務大臣は、どのように評価しているのか。また、前回の安倍総理大臣の訪米（2013. 2. 21～24）以降、日米同盟が改善してきた要因としてどういったものが挙げられるか。
- ・日米防衛協力のための指針（ガイドライン）はどのような位置付けであるのか。また、2015年4月27日に公表されたガイドラインにおいて強調されている「切れ目のない、力強い、柔軟かつ実効的な日米共同の対応」とは具体的に何を意味するのか。
- ・環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉に関する守秘義務と国内での情報公開の在り方について、政府としてどのように取り組んでいくべきであるかと考えるか。

2 特許法条約の締結について承認を求めるの件（条約第5号）

商標法に関するシンガポール条約の締結について承認を求めるの件（条約第6号）

- ・岸田外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。